

1. 授業のねらい・概要

高等学校の商業科教育免許状を取得することを希望する学生に対して授業を行う。

高等学校に係る教育関係法令や学習指導要領における教科「商業」の意義や目的を明らかにするとともに商業に関する分野や科目の知識・技術等に関する指導内容や指導方法を学ぶ。

2. 授業の進め方

基本的には、講義形式を中心とするが、学生による調査・研究の報告、発表なども取り入れていく。

3. 授業計画

1. オリエンテーション・商業科教員への道	8. マーケティング分野各科目の指導内容と指導方法
2. 商業教育の目的と教育関係法令	9. 会計分野「簿記」の指導内容と指導方法
3. 高等学校における商業教育の意義と必要性	10. 会計分野その他科目の指導内容と指導方法
4. 我が国の商業教育の歴史	11. ビジネス情報分野「情報処理」の指導内容と指導方法
5. 学習指導要領の変遷	12. ビジネス情報分野その他科目の指導内容と指導方法
6. 現行の学習指導要領とその理解	13. ビジネス経済分野各科目の指導内容と指導方法
7. 基礎的科目「ビジネス基礎」の指導内容と指導方法	14. 総合的科目の指導内容と指導方法
	15. 商業教育と資格取得

4. 到達目標

- (1) 学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。
- (2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。
- (3) 教科「商業」と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。
- (4) 発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。
- (5) 教科「商業」に関する各分野及び科目の指導内容と指導方法を理解している。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

準備学習としては、講義の前に教科書を読んでくること。事後学習としては、教科書にある課題や指示された課題を完成すること。

6. 成績評価の方法・基準

定期試験（50%）、授業内での課題・レポート（50%）

7. テキスト・参考文献

『教職必修 最新商業科教育法 新訂版』日本商業教育学会編著 実教出版 平成23年

『高等学校学習指導要領解説 商業編』文部科学省 実教出版 平成22年5月

高校で使用中的の教科書及び各検定試験問題

8. 受講上の留意事項

毎回内容を積み重ねていく講義なので、欠席をしないようにすること。また、商業科教育法Aの単位修得者のみが商業科教育法Bを履修することができる。